



千葉ジェッツ×
佐藤博紀選手

千葉のスポーツチームが、今ものすごく元気なんです！
野球やサッカーを中心に、その他のスポーツも巻き込んで
「千葉のエネルギー」を生み出す大きな存在に。
そんな注目チームの中から、千葉を地元とする2選手にインタビューしてきました！

CHIBA×SPORTS INTERVIEW!!!!

オービックシーガルズ×
金親洋介選手





千葉ジェッツ
佐藤 博紀 選手



温かなブースターとともに、バスケの魅力をもっと伝えたい

小学校4年生でミニバスケットに出会って以来、バスケットボールの選手になる以外の夢はありませんでした。高校は強豪校に進み、インターハイでベスト8。当然のように大学でも365日バスケット漬け(笑)。

社会人になって2年目にプロバスケットボールリーグ(bjリーグ)ができたのは朗報でした。指名を受けた大分ヒートデビルズで6年間プレイ。2010年に千葉ジェッツが発足して、ドラフト1位指名をもらったんですが、ちょうど選手として戦略的な視点が持てるようになってきた時期で。僕にとってはいいタイミングの誘いで、喜び勇んで地元・千葉に帰ってきたんです。

参入初年度の昨シーズンはイースタン・カンファレンス9位と不本意な戦績に終わりましたが、今年は結果を残したいですね。僕はシューティングガードという守りのポジションですが、攻めの姿勢も強く意識し、どんどんボールを奪ってゴールに繋げるよう、瞬発力を中心にスキルを鍛えて次シーズンに臨みたいと思います。

6年間千葉を離れたことで、千葉がますます好きになりましたが、それはブースター(熱狂的ファン)の存在も大きいですね。千葉ジェッツのブースターはみんな優しいんですよ。

地域のイベントで初めてチームを知ってくれた方が、何度も試合に足を運んでくれたり。一方でチーム運営に協力してくれる地元の方達も。た

例えば千葉商科大学の学生さん達は「千葉ジェッツ・プロジェクト」という活動を通じて、大学で公式試合を開催してくれて。チケット販売や広報活動への協力や、ブースタークラブの運営も手掛けてくれています。僕自身も地域の方々に喜ばれることは進んでやろうと決めています。最近では自宅のある四街道の体育館で月1回、子どもたちにバスケットを教えています。これは「プロ選手と子どもたちを直接触れ合わせたい」って体育館の施設長から話をいただいたんですよ。さらなるバスケの魅力と、千葉ジェッツの存在を浸透させるために、もっともっと地域に溶け込んで親しまれたいですね。

もっとも、僕の一番のブースターは3歳になる娘ですかね(笑)。いまは僕よりプリキュアに夢中ですけど、娘や息子と一緒に行くキャラクターショーで、千葉ジェッツのブースターの方に声をかけてもらえるようになれば、パパの妻さもアピールできるかなと(笑)。チームの勝利に貢献することが、家族や地域の人々の期待に応える一番の道ですね。みなさんも、ぜひ千葉ジェッツの試合を見に来てください。

[PROFILE] 千葉県立八千代高校、順天堂大学を経て、実業団チームの大塚商会アルファーズに入団。2005年のbjリーグ発足にともない大分ヒートデビルズ入団。2011年オフのエクスパンションドラフトで新規参入の千葉ジェッツに移籍。シューティングガードとして活躍している一方で、私生活では家族想いの良きパパ。



- ① 『#0』を背負う佐藤博紀選手。ポジションはシューティングガード。精神面を支える役割でも、チームでの存在は大きい。
- ② 千葉商科大学で行われた試合には、もちろん多くの学生が応援に。大学のチーム支援、チームの進化、学生の学びと成長がひとつの形に結びついている。
- ③ 地域活動の一環として行われる「バスケットボールクリニック」。プロ選手から指導を受けられることもあり、イベントは小さな子どもから大人までいつも盛況。主に近隣の小学校を中心に開催。

オービックシーガルズ
金親 洋介 選手



ゴールを託されるキッカーとして、仲間やファンの期待に応えるために

2005年、オービックシーガルズに入って2シーズン目の社会人リーグの決勝戦。同点のまま試合時間が残り1分となったとき、僕にボールが託されて……。逆転弾となったフィールドゴールを決めた瞬間、東京ドームの3万人がどよめいたんですね。普段は熱くならない性格なんですけどね、このときは痺れました(笑)。

僕のキッカーというポジションは、ある種「入って当たり前」と思われているゴールを狙う立場。試合が拮抗していて、勝負が決まる最後の場面を担うこともある。プレッシャーもかかりますし、孤独なポジションでもあります。だからこそトレーニングを怠らず、常にレベルアップを図ろうという意識は強いですね。

アメリカンフットボールとの出会いは大学時代。高校までサッカーを続けていたんですが、実は大学で何かスポーツに打ち込もうという気は無かったんですよ。ところが入学式の日、アメフト部から物凄い勧誘されて(笑)。背が高いから目をつけられたんでしょうね。ルールを覚えるところからはじめたんですが、次第に、他のスポーツにはない戦略的な面白さに夢中になっていきました。

ただ大学のチームは3部~2部リーグの常連で、4年間を終えてもどこか不完全燃焼な感じがあった。まだアメフトを続けたい。そんなとき、オービックシーガルズにスカウトされました。いまは平日はインターネット

調査会社の営業として仕事をしながら、朝晩に時間をつくってジムに通い、週末にホームタウンである習志野グラウンドで練習をしています。

オービックシーガルズのホームタウンである千葉は、僕が生まれ育った地元であり、改めて「好きかどうか」すら考えることもない馴染みの土地。でも昨年の東日本大震災での、土砂運びのボランティアや募金活動を通じて地域の人々と触れ合う中で、改めて地元の大切さを感じ、さらに愛着が湧きました。チームは、アメフトの魅力伝えるきっかけとなるフラッグフットボールの普及活動をはじめとして、多くの地域活動に参加しています。地域との絆を深めるのはもちろんですが、その先にめざしているのはアメフトのさらなる普及と、アメフト界の成長。そのためには僕たちが勝ち続けることが絶対条件だと考えています。今シーズンは社会人チームとして初めての日本選手権3連覇に向け、チームは気合が入っています。仲間の頑張りを託されるキッカーとして、チームを確実に勝利に導くため、そして地域の人々の期待に応えるために、これからも突き進んでいだけます。

[PROFILE] 千葉県立再興総合高校、国士舘大学体育学部を経て2004年オービックシーガルズに入部。2007年・2008年にオールXリーグ選出、2007年ワールドカップに出場するなど日本を代表するキッカー兼パンターである。飛距離、コントロール共に日本トップクラスで、その勝負強さはチームメイトに絶大な信頼を得ている。



- ① アメリカンフットボールのなかでもキッカーは、独自の役割を担うポジション。その責任の重さ故、強いメンタルが要求されるポジションである。
- ② 2011年シーズン、見事、日本選手権2連覇を達成したオービックシーガルズ。その強さは一般のマスコミ等においても、大きな話題となった。
- ③ 地域活動として行われる「フラッグフットボールを遊ぶ日」。アメフトに近いルールと同競技を通じて、地元との交流を深め、アメフトのさらなる普及をめざす。

ブースタークラブ 入会のご案内



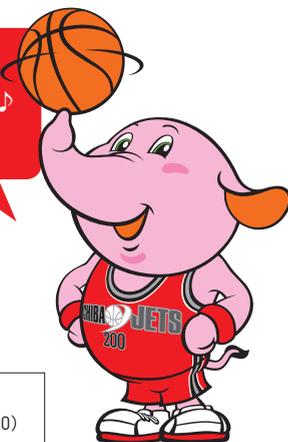
CHIBA JETS 千葉ジェッツ

2012-2013シーズンでいよいよbjリーグ2シーズン目を迎える千葉ジェッツ。子どもたちに夢を、地域に潤いを与えることのできるプロチームをめざして、活動を続けていきます。千葉ジェッツの活動にご賛同いただき、一緒になってチームをサポートしてくれる仲間を募集しています。

<p>●法人会員 105,000円/年[税込]</p>	<p>●ゴールド会員 10,000円/年[税込]</p>
<p>●プラチナ会員 30,000円/年[税込]</p>	<p>●レッド会員 3,000円/年[税込] ※親子でご入金の場合、お子様(高校生以下)はレッド会員が1,000円となります。</p>

ブースタークラブ会員には
特製グッズなど特典がいっぱい♪
詳しくはチームホームページで!

携帯電話は
コチラから



【お問い合わせ】千葉ジェッツ事務局
TEL:047-401-4084 (平日10:00 ~ 18:00)

OBIC SEAGULLS オービックシーガルズ



千葉県習志野市茜浜を本拠地に活動するオービックシーガルズは、日本選手権を2011・2012と2連覇し、今年は史上初の3連覇に向けて挑戦中! アメリカンフットボールを盛り上げ、そして世界に通用するチームへ。千葉を、日本をワクワクさせるチームを、共に盛り上げていきませんか?

スターターバック 3,000円

- お好きな1試合に入場
- メンバーズカード
- オリジナル応援グッズ(非売品)
- 「ファンブック2012」他

シーズンパス 10,000円

- 公式戦全試合に入場
- メンバーズカード
- オリジナル応援グッズ(非売品)
- 「ファンブック2012」他



秋シーズンは、9月よりスタート。
9月には、QVCマリンフィールドでも
試合開催決定!
日程の詳細は決まり次第
HPにてお伝えします。

【お問い合わせ】オービックシーガルズ事務局
TEL:047-452-2224 (平日10:00 ~ 17:00)

その他「千葉を元気にするための活動」をはじめ、私たちが何かお手伝いできることがございましたら、お気軽にお問い合わせください。



「3連覇参戦プロジェクト」始動!

2010年は腹筋100万回、2011年はトレーニング1000万回を達成! 我々の次なる目標は、皆で3,333万回! 腹筋以外でもOK。ファンも選手も「日本一カラダを鍛えているチーム」をめざし、TwitterやFacebookで参戦しよう!

